

第5回 修士論文発表会

趣旨：①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の成果発表——領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の構想発表・中間発表——スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。本発表会は、参加者を研究会の会員に限定せず、ある程度の公開性をもたせる。

日時：2012年7月7日（土） 12：20～18：10

会場：大正大学7号館5階755教室

スーパーバイザー：小倉啓子（ヤマザキ学園大学）、木下康仁（立教大学）、坂本智代枝（大正大学）、竹下浩（ベネッセコーポレーション）、都丸けい子（平成国際大学）、林葉子（お茶の水女子大学）、水戸美津子（自治医科大学）、三輪久美子（日本女子大学）、山崎浩司（信州大学・司会）

プログラム：

12：20～12：30 開会の挨拶・趣旨説明

12：30～13：45 成果発表① [SV 小倉啓子]

志賀朋美（北里大学大学院看護学研究科・M修了）

「植え込み型除細動器植え込み術を受けた病者の療養体験プロセスの明確化：診断から術後退院に焦点を当てて」

13：55～15：10 構想・中間発表1 [SV 都丸けい子]

岡田耕一郎（大正大学大学院人間学研究科・M2）

「定年退職者の退職選択プロセスの研究」

15：20～16：35 成果発表② [SV 竹下浩]

高丸理香（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科・M修了）

「日本人海外駐在員妻の「生活適応感」」

16：45～18：00 構想・中間発表2 [SV 三輪久美子]

美甘きよ（筑波大学大学院人間総合科学研究科・M2）

「自治体保健師が災害支援活動で困難と感じた体験を意味づけるまでのプロセス」

18：00～18：10 閉会の挨拶

申込：<https://ssl.formman.com/form/pc/wPRaAUco9zECvDen/>から**7月5日（木）まで**にお申し込みください。定員になりしだい締め切ります。

問合せ：modifiedgta@gmail.com 担当：山崎・坂本・阿部